

# 社会保障委員会 NEWS

発行：社保委員会事務局

## ■健康相談会、各地で2順目を開催 8/25 多賀城公園仮設で16名、 9/1 高橋仮設で9名来場。



### <多賀城公園16名中9名の方が初参加>

25日に多賀城公園仮設で2回目の健康相談会を開催しました。参加者は、医師は山田副院長・藤原医師の2名、看護師は手術室と3階から2名、検査1名、友の会からは佐藤としよさんが参加しました。今回もみやぎ生協から理事と地域のリーダーさん達が多数参加。医学生も多数参加するなど、賑やかな健康相談会になりました。

今回は16名の入居者の方が来場。うち9名が初めての参加でした。血圧150以上の方は5名程度で、坂病院通院中やかかりつけ医通院中の方々でした。藤原医師は、市保健婦さんの気になるお宅も訪問しました。来場された入居者の方から、「今度、お祭りやるんでしょ。お手伝いしますよ。」と申し込みがありました。

<参加者の感想>

- ・初めて仮設入居者と話をしました。大変な状況で皆さん頑張っていました。高血圧の方が多。 (看護師)
- ・「音が気になる」「余震で落ち着かない」「震災後眠れない」など、震災の影響がまだ続いていることを痛感しました。仮設に退院していく方もいるので、今後の仕事に生かしていきたい。(看護師)
- ・相談に来られた方々の相談後のホッとした様子や談笑している笑顔に勇気づけられました。(コメディカル)

<多賀城公園集会所での健康相談会>



### <高橋9名中2名の方が初参加、2軒お宅訪問>

9月1日は高橋仮設で2回目の健康相談会を開催しました。参加者は、富山医師、看護師は4階と介護保険室から2名、友の会からは山内さんが、またみやぎ生協からも2名参加いただきました。血圧150以上の方は3名で、体調面ではほとんど落ち着いている方々でしたが、皆さん通院・買い物への交通の便が悪いと話していました。山内さんより、西部地域の循環バス復活を要望する署名を始めることが報告されました。

<参加者の感想>

- ・津波のことを毎日思い出すという方もおり、心の傷はまだまだ癒えることはないと思いました。交通の便が悪く、普段お生活も苦勞が絶えないと感じました。(看護師)
- ・このような機会を利用して、要望を聞いて支援をしていけたらと思いました。1人暮らしの方をどう支えていくかも含めて、住んでいる方の交流が図られる支援が必要と思います。(ケアマネ)
- ・一人暮らしが多かった。肩・腰・膝の痛みが多い。バスが必要だと感じた。(医師)

## ■9月12日(月)より、塩釜・伊保石仮設住宅に坂病院～北部診療所間の送迎バス(ワゴン車)が一部回ることになりました。

塩釜の伊保石仮設も交通の便が悪く、健康相談会では「坂病院に行くのに往復タクシー代が4千円かかる」等の悩みが寄せられていました。このたび、9月12日(月)から、坂病院～北部診療所間を往復している送迎バス(ワゴン車)が一部、伊保石仮設を回ることになりました。

伊保石仮設発は、毎週月・水・金の朝8:10、伊保石仮設1期棟1号館前駐車場出発です。

坂病院からの帰り便は、運転手に「伊保石仮設まで」と言っていただければ、北部診療所のあとに全便伊保石仮設に回ります。

伊保石仮設の皆さんには、ポスターとチラシ配布でお知らせいたします。また、来週9月8日の伊保石健康相談会には、北部診療所の吉田所長が参加して、参加者には直接お知らせする予定です。